

4 肝付町総合振興計画について

4.1 基本構想概要

4.1.1 肝付町の将来像

(1) まちづくりの基本理念

本町は、海・山・大地からなる多様な地理的特性を持ち、この豊かな環境を生かした農林水産業を基幹産業として特色ある産品を生産しています。

また、塚崎古墳群や二階堂家住宅、今も受け継がれる流鏝馬などの歴史的資産が多く、ソテツ自生地などの自然資産にも恵まれています。

さらには、高山温泉ドーム、高山やぶさめ館、コスモピア内之浦、湯の谷温泉、内之浦銀河アリーナなどの観光・レクリエーション施設も多く、ロケット発射場を有する内之浦宇宙空間観測所もあります。このような本町の持つ特性や潜在能力を十分考慮するとともに、環境問題の深刻化や健康意識の高まりなどの社会環境の様々な変化を踏まえ、新しく誕生したまちの基本的な姿勢として、「地域の中で住民がお互いの価値観と人権を尊重し合い、すべての人が自立した生活者として自覚を持ち、住民、行政の相互の信頼関係に基づいた協働によるまちづくりを進める」こととし、『人と地域の個性が輝く、創造と協働のまちづくり』を基本理念として掲げます。

(2) まちづくり将来像

『人と地域の個性が輝く、創造と協働のまちづくり』を、本町の基本理念として掲げつつ、まちの目指すべき将来像として、次の3つを設定します。

◆健やかで安心して生活できる「安心のまち」

本町は、面積が広く山間部に集落が点在することや、高齢化等により身近な範囲での利便性の高い生活が求められることなどから、住み慣れた地域において、健康で安心して暮らすことのできる地域社会の構築を進めていくことが必要です。

また、町の有する貴重な自然環境を、後世に引き継いでいく取り組みも重要です。そのためには、日常生活圏における保健・医療・福祉体制の充実を図り、地域内外のバス運行など住民にとって利便性が高く、安心して生活できる地域社会の構築を進めます。

また、風力発電・太陽光発電の活用や河川浄化運動など環境に配慮しながら、健やかで安心して生活できるまちを目指します。

◆第一次産業を中心とした産業が発展する「食のまち」

本町の基幹産業は、稲作、さつまいも等の土地利用型農業、施設園芸、果樹、畜産、林業、漁業といった第一次産業であり、付加価値の高い農林産物供給基地及び新鮮な魚介類の供給基地としての発展が期待されています。

これらの地域産業を活性化させるための様々な施策を実施するなど、地域としての雇用創出力の向上や地域経済の発展を目指した取り組みを進め、自立性の高いまちづくりを展開していくことが重要です。

そのために、農林水産物の高付加価値化や生産体制整備に向けた取り組みを進めます。また、域内・域外流通体制の強化を図ります。さらに、地産地消の拡大、グリーン・ツーリズムと観光との連携により新しい観光形態の創出を図り、第1次産業を中心とした産業の発展に努めます。

◆自然資源と歴史文化資源の融合による「交流のまち」

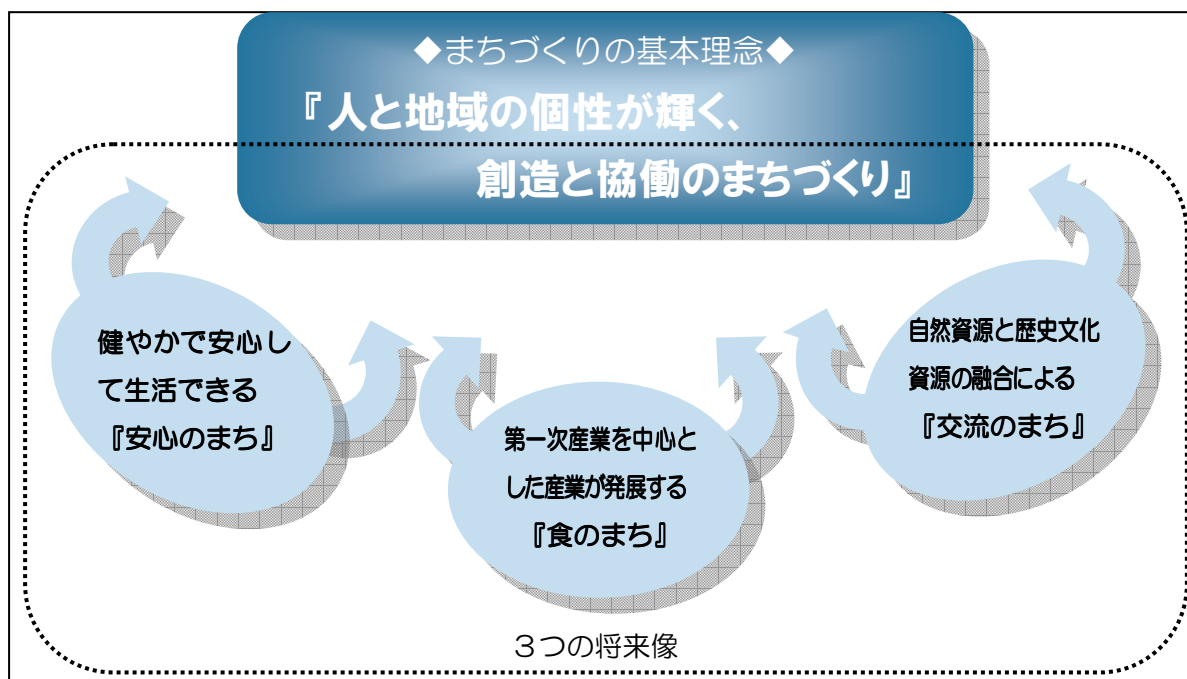
本町は、大隅半島の中核的な都市である鹿屋市に隣接し、東部は太平洋に面した美しく長い海岸線を有しています。

また、温暖な気候や豊かな自然環境に恵まれ、史跡、伝統行事、その他各地域で実施されているイベント等の文化資源も豊富に有しています。

さらに、内之浦宇宙空間観測所は地域のシンボリックな存在として知名度の向上につながっています。近年では、レクリエーション施設の整備も進んでおり、スポーツ・レクリエーションを通じた広域的な交流が期待されています。これらの自然資源や歴史文化資源、各種交流施設を組み合わせながら、融合による相乗効果を発揮することによって、さらなる交流人口の拡大を図っていくことが必要です。そのために、自然資源や歴史的な文化資源、各種交流施設のネットワーク化を図り滞在型観光の拡充を目指します。

また町全体が自然や歴史文化を実感できる景観や雰囲気を持った地域としての整備を進め、まちの魅力を地域内外へ発信していく体制づくり

に努めます。



4.1.2 基本施策の大綱

1. 地域資源の融合により、
新たな活力を創生するまちづくり

2. 利便性が高く、機能的なまちづくり

3. 地域一体となって支え合う
健やかで安心なまちづくり

4. 自然が豊かで落ち着いて喜らせる
ゆとりあるまちづくり

5. 生きがいと心豊かな人材、
伝統と文化を育むまちづくり

6. 地域が核となり、
協働型社会を実現するまちづくり

(1) 地域資源の融合により、新たな活力を創生するまちづくり

地域の活力をつくり・育てる第一次産業の振興、商工業の振興、観光の振興

(2) 利便性が高く、機能的なまちづくり

道路・交通ネットワークの整備、河川・港湾及び海岸の整備、情報通信基盤の充実、市街地の街並み整備

(3) 地域が一体となって支え合う健やかで安心なまちづくり

地域保健・医療の充実、各種福祉制度の充実、高齢者福祉の充実、地域福祉の充実

(4) 自然が豊かで落ち着いて暮らせるゆとりあるまちづくり

環境保全と環境対策の充実、水道事業及び簡易水道事業の充実、排水施設の設備、快適な公共空間の整備、消防・防災の充実、交通安全・防災・消費生活支援の充実

(5) 生きがいと心豊かな人材、伝統と文化を育むまちづくり

学校教育環境の充実、社会教育・生涯学習の充実、地域文化の振興

(6) 地域が核となり、協働型社会を実現するまちづくり

コミュニティ活動の充実、住民参画及び協働の仕組みづくり、交流活動の充実、行財政効率化の推進

4.2 基本計画概要

《 リーディングプロジェクト 》

(1) リーディングプロジェクトの位置づけ

持続可能な地域をつくり、本町の活力を将来につなげていくためには、行政が行ってきた事業のなかに“協働”の視点を取り入れていくことが必要です。まちづくりの基本理念として設定した『人と地域の個性が輝く、創造と協働のまちづくり』に基づき、3つの将来像『安心のまち』『食のまち』『交流のまち』を実現していくため、牽引となるプロジェクトを3つのリーディングプロジェクトとして位置付けます。

リーディングプロジェクト

- ①みんなで築く、安心・安全健やかプロジェクト
- ②活気あふれる基幹産業の躍進プロジェクト
- ③自然・歴史・文化の融合による交流のまちプロジェクト

(2) みんなで築く、安心・安全健やかプロジェクト

本町の課題である少子化高齢化に対応しながら、まち一体となって保健・医療・福祉の各分野での様々な取組や本地域の魅力の一つである豊かな自然環境と共生する取組みを推進します。

◆いきいき健康プロジェクト

少子化高齢化の予想されるなか、健康づくりや介護予防等が重要な課題となります。そのため、保健・医療・福祉の分野での健康づくり推進体制の充実を図るとともに、そうした取組の拠点となる施設を整備します。また、救急医療体制の充実、地域医療の拠点施設の機能強化、さらにボランティアやNPO等の活動を取り組んだ各種福祉サービスの充実を図っていきます。

- 介護予防の推進組織設置や拠点整備
- 養護老人ホーム国見園や町立病院の充実
- 生活支援ハウスの整備

○保健・医療・福祉サービス体制のネットワーク化

◆あんしん子育てプロジェクト

次世代にまちを受け継いでいくためにも、未来を担う子供たちを安心して生み、育てることのできる体制づくりを推進していきます。そのため、子育て支援センターの設置や子育てに対する支援体制の強化などを図っていきます。

○子育て支援センターの保育園への併設整備

○子育て相談機能の整備・充実

○ボランティアグループへの支援体制の確立

◆郷土の自然クリーンプロジェクト

本町は、海・山・川の豊富な自然資源に恵まれており、こうした地域資源を守り、次世代に残していくため、自然の大切さを学習しながら、郷土の自然をきれいにする清掃・美化活動の推進を図っていきます。

○肝属川等クリーン大作戦（親子で参加する河川・海岸

○清掃・美化活動

○自然環境学習のプログラムの作成・実践

(3) 活気あふれる基幹産業の躍進プロジェクト

本町の基幹産業である農林水産業がさらに発展していくよう、生産基盤の整備や人材育成に努め、そうした取組を支える体制づくりを推進します。また、農林水産物の高付加価値化を追求するとともに、安心・安全な「生産物」の供給拠点づくりを進め、さらに、環境保全型農林水産業の推進、ブランド化の強化、域内外の流通体制の強化等に取り組むことで、元気な農林水産業の確立を図ります。

◆肝付ブランドプロジェクト

本町の基幹産業である農林水産業の高付加価値化を図っていくために、地域ブランド確立の体制づくりを推進していくとともに、販売戦略の展開、観光との連携などを図り、肝付ブランドを全国に発信できる活力を作っていきます。

○地域ブランド認証制度などの確立

○高齢者でも従事が容易な高付加価値作物の

○選定・奨励体制づくり

- PR活動、販売システムの構築などの推進
- 観光イベントとの連携によるPR
- 地産地消システムの構築

◆体験型農業・漁業プロジェクト

地域ブランドの確立と併せて、地域産物の魅力のPRを図るとともに、観光や地域の暮らしなどが一緒に体験できるプログラムをつくり、推進を図っていきます。

- 体験型農業・漁業のプログラムの作成
- 推進体制の構築及び行政による支援体制の確立

◆拠点づくりプロジェクト

地域ブランドや地域の取組みのPRする場となるとともに安心・安全な農林水産物及び加工品を気軽に購入できる拠点づくりを推進します。

- 物産館（お魚センター等）の整備
- 産直販売体制等の整備及び支援
- 定期市の充実

(4) 自然・歴史・文化の融合による交流のまちプロジェクト

本町の魅力のひとつは、雄大で美しい自然に恵まれ、歴史や文化の薫る資産が豊富にあることです。こうした地域の資産を効果的に融合されることで、様々な相乗効果を発揮することとなり、域内外の交流人口の拡大役立てることが出来ます。

◆観光PRプロジェクト

本町の地域資源をいかに活用していくかは重要な課題です。そこで、地域貴重な財産である歴史資源、地域ブランド産物、温泉などの観光資源をセットでPRできるよう、イベントなどの活動の推進や情報発信体制の確立を図っていきます。

- 「地域の魅力セット情報」づくり（地域ブランド、祭り文化財、温泉などを楽しみながらセットで回れるプログラムづくり、マップづくり）
- イベント活動への支援体制づくり

○情報発信体制（インターネットHP）の確立

◆**体験交流プロジェクト**

全国の子供たちや障害者など対象に、農林水産業の体験と観光、自然体験などをセットとした交流プログラムをつくり、農山漁村の生活体験、職業体験、郷土料理体験などを通じて地域住民との交流を図るプログラムとして、実践を推進していきます。

- 体験交流プログラムの検討・作成
- 推進体制・支援体制の確立
- 効果的なPRの推進
- 受入れ体制の整備・支援

◆**観光のまちの体制づくりプロジェクト**

農村らしさ、歴史的な背景、豊かな自然をベースとして、訪れる人が様々な体験をし、楽しめる、「潜在型観光」のできる地域づくりを目指して、行政・観光協会・NPO・ボランティア・地元企業・町民など地域の人々が一体となって訪れる人をもてなすことのできる体制づくりを推進していきます。

- 観光のまちづくりプログラムの作成
（体制づくり、推進体制など基本指針）
- 推進体制・支援体制の確立